NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞切り抜き作品作りを通して社会を見る目を育てよう

2．学校名

愛知県立海翔高等学校

3．実践者名（代表者名）

神野孝司

4．学年

第1・2学年（福祉科）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

福祉・社会福祉基礎(1年37人)、社会福祉実習(2年36人)

6．単元（本時の学習課題）名

現代の保護・医療・福祉の課題

7．目標(狙い)

保健・医療・福祉に関する新聞記事を中心にスクラップを行い、記事に対する感想や意見をまとめて社会を見る目を養い、切り抜き作品をグループ毎に作り、実践力を育てる。

8．評価の視点

レイアウトやイラスト、感想や意見の文章など、生徒一人ひとりが積極的に特技を活かして新聞作りに参加しているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

1年生：現代の日本社会と福祉の視点　6時間（NIEコーディネーターによる講義2時間を含む）
2年生：わが国の保健・医療・福祉の課題　4時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①1学期に夏期休暇中の課題を示す。保健・医療・福祉に関する新聞記事を集め、その中から1つ選んで記事に関するコメントを原稿用紙に400字以内で書いて提出させる。
②NIEコーディネーターによる見出しの工夫や新聞作りのコツに関する講義を受け、新聞切り抜き作品づくりの導入とする。（1年生のみ2時間）
③興味や関心の似た者同士でグループをつくり、集めた記事の取捨選択をしてテーマを決めさせる。(2時間)
④記事に付箋で意見をつけさせ、レイアウトやイラストなど一人一役の役割を分担させる。（2時間）
⑤新聞切り抜き作品作りが楽しくなってきたところで、特別教室を授業後開放し、自主的に各グループで作業を進めてもらう。2学期末を締め切りとし、早くできたグループの作品は教室に展示する。

（留意点）

・１、２年生共通で新聞切り抜き作品作りを行わせ、活動する教室も同じにして学年間の交流が生まれるようにした。また、各グループのテーマを発表し、グループ内だけでなく、グループ間でも新聞記事の交換をしあうなど、協力して作業を進めるよう指導した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞切り抜きの授業を初めて行う1年生は、グループワークを通して社会性を育てる機会となっており、楽しく取り組んでいる。2年生になると、社会に関心を持ち、グループの実践力を養うという目的とは別の反応を示す生徒も出てきた。福祉に偏ったテーマばかりだと競合し、入賞ができなくなるというこだわりだ。

12．成果と課題

本校の新聞切り抜き作品づくりの取り組みは今年度で3年目。2年連続で先輩たちが県大賞をとったこともあって、後輩のモチベーションアップにつながっている。しかし、社会への関心やグループワークの実践力を養うことが本来の目的で、入賞するか否かは二の次なので先輩と比較する事は避けたい。夏期休暇中の課題とした新聞切り抜きだが、定期購読をしていないのでできないと答える生徒が年々増加している。原因は、文化費よりも遊興費といった価値観の変容か、ネットや携帯電話等の情報ソースの多様化か。否、福祉科では経済的な問題もあると思われ、いつも校内で新聞を手にとって読めるような環境をつくりたいと考えている。